

令和7年陳情第28号

国に国民の主食である米の価格を統制することを求める意見書の提出に関する陳情書

令和7年11月28日付けで受理した別紙の陳情書を、議会運営委員会の決定により配付する。

令和8年2月25日 配付

京丹後市議会議長 中野勝友



国に国民の主食である米の価格を統制することを求める意見書の提出に関する陳情書

陳情の趣旨

令和7年度も米の価格の高騰は収まりません、国民の生活を守るため、国に対し国民の主食である米の価格を統制することを求める意見書の提出をお願いいたします。

陳情の理由

「防衛白書、令和5年度」2023年度から5年間で防衛費は約4.3兆円程度と増額し、国内総生産 GDP 1%から GDP 2%を目安にしています。

このように防衛費は増額しています、食糧安全保障の観点から国民の主食である米の価格を統制し、米農家の所得の安定を図るべきで、米価格統制費用は食糧安全保障の見地から防衛費から拠出すべきです。

それに、農林水産省九州農政局白書、によれば自営農業に従事する「基幹的農業従事者」人数2000年240万人→2023年116万人に減少、うち65歳以上82万人、「基幹的農業従事者」平均年齢68,7歳、10年後平均年齢は約80歳で、このままでは日本の農業は消滅します。

令和7年11月25日

京丹後市議会議長 中野 勝友 様

社会の歪を鋭く追及

政策提言する世直し集団「一輪のバラの会」

代表 加藤 克助

愛知県安城市